

識れば愉しい都の素顔
京都のツボ

柏井壽・著

集英社インターナショナル ウェブ立ち読み

はじめに

京都はとても楽しい街です。と同時に難しい街でもあります。

その思いを強くされるのは、実際に京都を旅されるときでしょう。

さらりと、ひと通りの京都を観るだけなら容易なことです。少しでもそれを深めていこうとすると、わからないことだらけになります。

たとえば「東寺」の五重塔を見上げて、高いなあ、立派だなあ、と写真におさめてオシマイ、なら簡単ですが、なぜ「東寺」はあるのに、「西寺」は無いのだろう、と疑問を持ち始めると、ガイドブックだけを頼りにしていた

のでは、簡単に答は見つかりません。

食もしかりです。〈京料理〉という看板につられて店に入り、それらしい料理で満足できるならたやすいことなのですが、本当の京都の料理を味わうには、相応の経験や知識が必要となります。

京都という地、人々の間で培われてきたしきたり、そして食。そこにはいくつかのツボがあるのです。そのツボをおさえておけば、京都という街が、少しずつ見えてきます。わかつてきます。

京都に生まれ育つて六十年以上が経ちました。その間に出会った四十のツボをご紹介します。

ツボをお読みいただくだけでも充分お愉しみになれると思いますが、叶うならば是非京都へお越しく下さい。そしてご自分の目でたしかめ、ツボを心で受けとめてください。きつと京都愛が深まるものと信じます。

食のツボ



はじめに	2
京の食	8
きつねとたぬき	10
京の水	14
鞍馬煮	18
京割烹	22
宇治金	26
京のお肉	30
九条ねぎ	34
おぼんざい	38
たまごサンド	42
京の珈琲	46
京風ラーメン	50
柴漬け	54
花街洋食	58
蒸し寿司	62

地のツボ



京の地	68
おひがしさん	70
鬼門の猿	74
京の鳥居	78
東寺と西寺	82
天使突抜	86
路地と辻子	90
錦市場	94
鯖街道	98
釘抜さん	102
京の狛犬	106
鍾馗さん	110
丸竹夷二押御池	114
ろれつ	118

しきたり のツボ



京のしきたり	124
京の三大祭	126
祇園さん	130
一見さんおことわり	134
大丸さんの紙袋	138
お菓子屋さん お饅屋はん	142
おもたせとおみや	146
応仁の乱	150
京のぶぶ漬け	154
いちはなだって	158
おいどかまし	162
一尺	166
さくらともみじ	170
曲がり角	174
モデルコースと地図	178

装画・挿画 柳智之 装丁 アルビレオ

【寺社・店舗等情報掲載ページにつきまして】 本書に掲載している情報はすべて2016年1月現在のものです。定休日、拝観料などのデータは変わる可能性がありますので、最新の情報をご確認ください。無休と記載していても、年末年始などはお休みの場合もあります。移動時間は目安です。また、本文に掲載していない寺社、店舗等のデータも紹介していますが、それらには*をつけています。

花街洋食

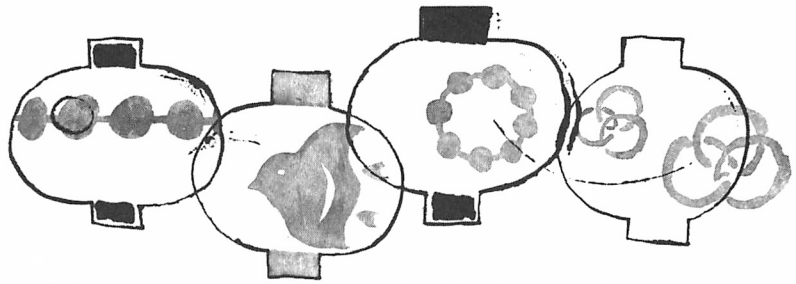
京都の食といえば、つい和食に目がいきがちですが、京都は洋食の美味しい街でもあります。フレンチでも、イタリアンでもない、昔ながらの洋食です。

京都で洋食が盛んになったのには、いくつかのわけがありますが、そのひとつに花街かがいの存在があります。舞妓まいこさんや芸妓げいこさんが行きかう華やかな世界と、見た目も味付けも濃厚な洋食。一見すると不釣り合いに思える両者に、どんな繋がりがあるのでしょうか。

京都には今、五つの花街があります。祇園ぎおん甲部こうぶ、祇園ぎおん東ひがし、先斗ばんと町まち、宮川町みやがわちやう、上七軒かみしちけん。本当はここに島原しまはらが加わるはずなのですが、組合に入っていないので、数えられません。大人の事情があるようです。

さて、その花街ですが、そこで出される料理は、当然ながら和食に限られます。お客さんと一緒に席に着く舞妓さんたちも、同じものを口にします。二十歳にもならない舞妓さん、和食ばかりだと飽きてくるのは自然の流れですよ。そこで洋食が脚光を浴びることになります。

〈ご飯食べ〉という習わしがあります。西陣あたりの旦那衆が、ひ



いきの芸妓さんや舞妓さんを連れて食事に行くことを言います。その多くは、お座敷に上がる前のこと。

「どや。なんぞうまいもんでも食べに行こか。何がええ?」

「おおきに。旦那さん、うち、洋食が食べとおすねん」

というような会話が交わされた後、花街に暖簾をあげる洋食屋さんへと足を運ぶこととなります。

エビフライやハンバーグ、ビーフシチュー。まだ幼さの残る歳に、田舎から京都へ出てきた少女に、これほど魅力的な食が他にあるでしょうか。

我を忘れて食らいつきたいところですが、そうもいきません。どれも箸で小さく切り分けて口に運びます。

それを見ていた洋食屋の主人は、舞妓さんの、おちよぼ口に合うよう、最初から小さく切つて出すことにします。それも、少しずつ、いろんなものを食べられるようにと、弁当に仕立てます。洋食弁当のはじまりです。今でも多くの洋食屋さんで食べられますが、僕のお奨めは、宮川町の「グリル富久屋」と先斗町の「開陽亭」です。

花街の傍に名洋食店あり。今もその法則は生きています。

少しばかり事情があつて、花街から移転した店も少なくありません。そこにも目を向ける必要があります。

たとえば、二寧坂（二寧坂）の路地奥に暖簾をあげる「洋食の店みしな」。この店はかつて祇園富永町で人気を博していた「つぼさか」という店の流れを汲んでいます。

このお店の名物はお茶漬けです。エビフライやビーフシチュー、クリームコロッケなどの洋食に舌鼓を打ったあと、あつさりしたお茶漬けでめるのです。

京都らしい洋食といつて、これ以上はないでしょう。

厳しい修業を重ねる、ある舞妓さんが、ふと故郷を思い出し、両親にこの洋食を食べさせてあげたいと、思わず涙をこぼしました。

舞妓になつて四年。京都に来て、初めての涙だつたそうです。



舞妓さんを魅了した洋食

グリル富久屋

地図 ⑤

創業は明治40年(1907年)。佇まいは喫茶店のようだが、花街らしい、花うちわが飾られた店内でエビフライ、カツカレー、洋食弁当などが愉しめる。名物(フクヤライス)は、とろとろの卵の上にトマトやグリーンピースが載る、お花畑のように華やかなオムライス。中のケチャップライスはシンプルでさわやかな味わい。たまごサンドや、タルタルソースを使った海老サンドも美味しい。運が良ければ舞妓さんにも会えるかも。

京都市東山区宮川筋5-341

電話 075-561-2980

営業 12:00～21:00 定休 木曜、第3水曜

アクセス 京阪本線「祇園四条」10分、京阪本線「清水五条」10分

開陽亭

地図 ⑤

創業は大正5年(1916年)。コンソメやデミグラスソースにこだわった洋食は、タンシチューやサーモンスターキなど洗練された高級なもの。洋食弁当にはフィルの照り焼きのほか、海老フライ、ホタテフライなど数品が入る。弁当の重箱は、舞妓さんのおこぼ下駄に見立てた赤い三段重。100周年を機に創業以来使っていた輪島塗の弁当箱をリニューアルした。

京都市中京区先斗町通四条上ル柏屋町173

電話 075-221-3607 営業 12:00～15:00 17:00～22:00(L.O. 21:30) 定休 火曜

アクセス 京阪本線「祇園四条」徒歩5分、阪急京都線「河原町」徒歩5分

洋食の店みしな

地図 ⑤

カウンター 10席のみの小さなお店。ランチは予約ができないが、地元の常連客も多い。2週間かけてつくるデミグラスソース、細かくひいた自家製のパン粉を使った海老フライと、丁寧な仕事からつくり出される一皿一皿には本当の京都らしさを感じられる。ランチでは自家製ちりめん山椒などと共に、お茶漬けが出されるが、不思議と洋食に合うと評判。

京都市東山区高台寺二寧坂畔

電話 075-551-5561

営業 12:00～14:30(L.O.) / 17:00～19:30(L.O.) 定休 水曜・第1第3木曜(祝日の場合は翌日)

アクセス 市バス「東山安井」徒歩10分、京阪本線「祇園四条」徒歩14分

鬼門の猿



鬼門。それは鬼がやつてくる方角を言います。

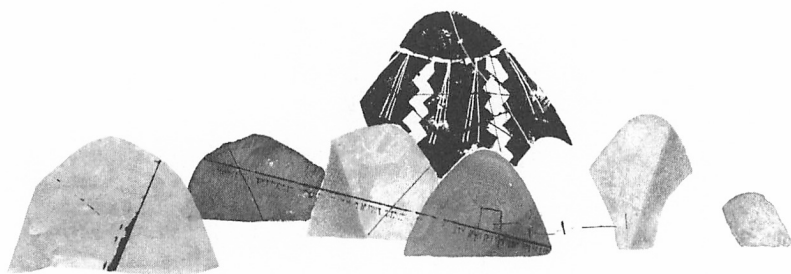
艮ぎんの方向。つまりは北東にあたります。今の時代に、鬼がやつて来るなどと誰も思っていないませんが、京都の人は異様なほど、この鬼門を気にかけてます。

土地を買うときはもちろん、家を建てるときにも、鬼門がどこかを、たえず頭に入れています。

鬼は不浄なものを好みますから、鬼門の方角は清浄を保たなければいけません。洗面所、風呂、台所など汚水が出る設備は、北東の方角につくつてはいけないと言われます。

それでも鬼がやつて来たときのために、防御装置を施します。敷地の北東の角に柵ひしごや南天なんてんの木を植えるのです。柵は、その尖った葉先が鬼の目を射るといいますし、南天は（難を転じる）という語呂合わせ的なものです。

そんなもので鬼が防げるのか、と思われる方もおられるでしょうし、そもそも鬼などいるわけが



ろには猿がいます。この（猿が辻）、よく見ると、その角だけ堀がくぼませてあります。鬼門の角をなかつたことにしよう、という目論見めくみです。もちろんそれだけでは心もとないので、猿を常駐じょうじゆさせました。堀の屋根の下に木彫の猿が御幣ごへいを担いでいます。

この猿は鬼が来ないときはヒマなので、通る人々にイタズラをします。あまりにそれを繰り返すので、とうとう金網に閉じ込められてしまいます。今もそのままの猿の姿が見られます。

他にも、この近くの「幸神社さいのかみじや」のお堂の北東の角に、同じ姿の猿がいますし、ここから北東へとたどった「赤山禅院せきざんぜんいん」にも同じく猿の像が安置されています。

今どき鬼の存在など信じているはずはないのですが、京都の人々が鬼門という存在を封じようとするのは、災いを畏れていることなのです。鬼はその象徴でしかありません。天災に備える気構え、災いを避けるための方策など、常に準備を怠らないという姿勢を示すのが鬼門封じで、それを代々伝えてきたことで、今の京都の隆盛があるのです。

北東に一直線。 同じ方角で古都を守る3匹の猿

京都御所

地図 ④

1331年から約540年間、歴代の天皇がこの場所にお住まいだった。現在の京都御所は1855年の造営。貴重な建造物は、春と秋には一般公開される。それ以外の時期は往復はがきやインターネットで申し込みれば、無料で参観することができる。申し込み手順など詳しくは宮内庁のホームページ <http://sankan.kunaicho.go.jp/guide/kyoto.html>で。

なお、「猿ヶ辻」の猿は外側から見るができる。

京都御所を囲む広大な京都御苑は梅や桜、紅葉も美しい市民の憩いの公園。

京都市上京区京都御苑内

電話 075-211-1215 宮内庁京都事務所参観係

アクセス 地下鉄烏丸線「今出川」徒歩5分

市バス「烏丸今出川」から徒歩5分

行幸神社

地図 ④

「幸神社」は平安京を造営するときに鬼門に祀った「幸神」が起源。猿像は本殿の東北の金網のなかに見られる。現在は方除けだけでなく、縁結びの神社としても訪れる人が多い。

京都市上京区寺町通今出川上ル西入幸神町303

電話 075-231-8774

参拝 自由 参拝料 無料

アクセス 地下鉄烏丸線「今出川」徒歩11分

市バス「河原町今出川」徒歩10分

赤山禪院

地図 ①

888年、延暦寺の塔頭たっちゆうとして創建された。京都の表鬼門おもてきもんにあたり、金網に入れられた猿が拝殿の屋根の上から御所を見守っている。秋は紅葉の名所に。

京都市左京区修学院開根坊町18

電話 075-701-5181 拝観 9:00～16:30 拝観料 無料

アクセス 叡山電鉄叡山本線「修学院」徒歩16分

叡山電鉄叡山本線「宝ヶ池駅」、「三宅八幡」徒歩17分

祇園さん

京言葉というものは本当にやつかいです。京都に生まれ、とうに暦がひと回りした僕が言うのだからまちがいありません。

何が難しいかといつて、同じ言葉であつても、そのときの状況によつて、意味合いが異なることです。

たとえばこんなことがあります。春うららのお昼前。道端で出会つた京都人どうしの会話。

「どこへお行きやすのん？」

「へえ、ちよつと〈祇園さん〉のほうまで」

「よろしいなあ。たんと美味しいもん召し上がつとくれやす」

「おおきに」

ここでの〈祇園さん〉は地名を指します。服装などから察して、食事に行くところだとわかつたのでしよう。ちゃんと会話が成り立っています。

同じふたりですが、梅雨明け間近の夕暮れときだとしましょう。

「どちらへ？」

「へえ、〈祇園さん〉へ」

「よろしいなあ。せいだい愉しんできとおくれやすな」

「おおきに」

どうでしょう。違いがおわかりになりますか。

このケースでは〈祇園さん〉は祇園祭を指しています。ポイントは時期です。七月半ば、きつと宵山の前後なのでしょう。

さらにはこんなこともあります。大晦日です。すつかり夜も更けています。

「寒おすなあ。どちらへ」

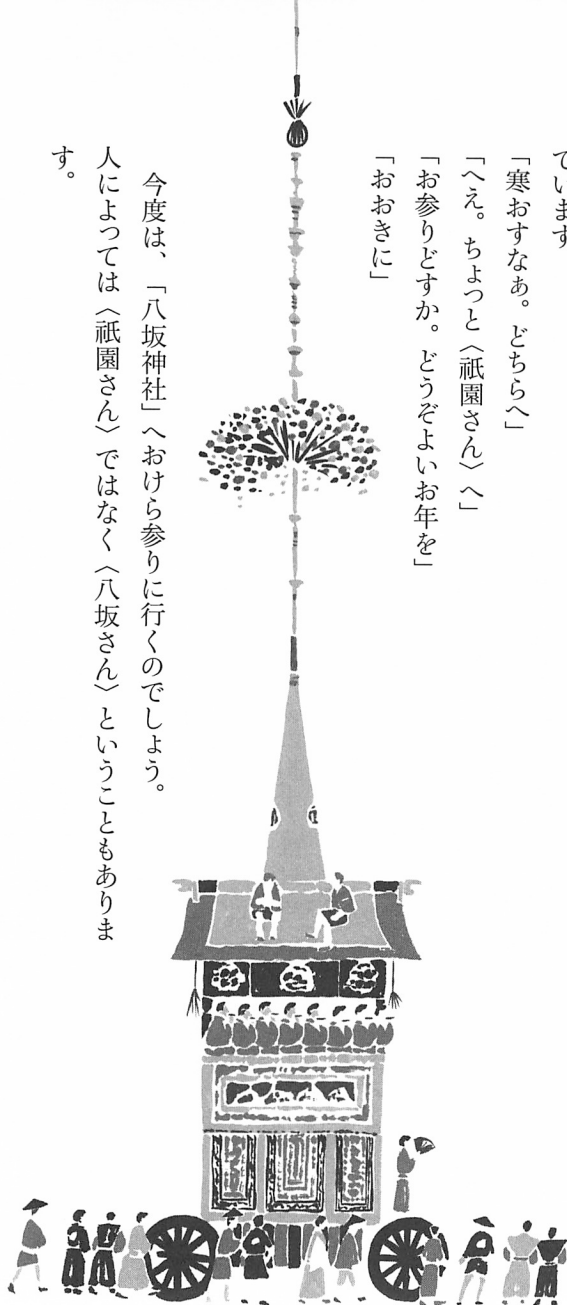
「へえ。ちよつと〈祇園さん〉へ」

「お参りどすか。どうぞよいお年を」

「おおきに」

今度は、「八坂神社」へおけら参りに行くのでしよう。

人によつては〈祇園さん〉ではなく〈八坂さん〉ということもあります。



〈天神さん〉でも同じような使い分けをします。

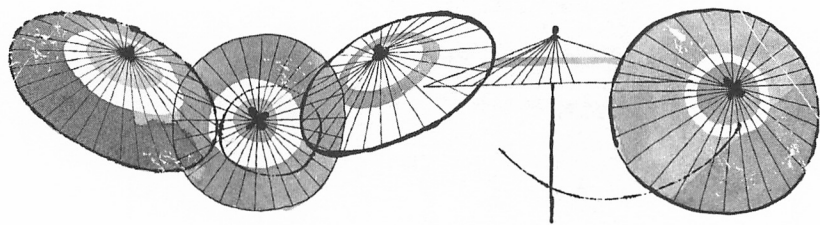
年末年始、一月中ごろまでの〈天神さん〉といえば、合格祈願と考えてまちがいないでしょう。毎月二十五日なら、おそらく天神市でしょう。春先なら梅見だと思えます。

細かなことを言わないのも京言葉の特徴だと思えます。言わずもがな、というのでしょうか。それでわかり合える相手とは付き合いを続けますが、意味が通じない相手とは少しずつ疎遠になっていきます。

互いに相手のこと、立場、暮らしぶりをわかかっていて、それを慮ることができれば、おのずと意は通じるのです。つまり京言葉というのは、相手に対する思いやりありきなのですね。

京言葉は冷たいともよく言われます。それはきつと、こんなところにも原因があるのでしよう。見知らぬ人だと入り込めない。排他的だと言われれば否定はしません。でも、だからこそ互いの懐に入ってしまったえば、これほど心地いいことはないのです。

京都とどう付き合うか。京言葉はそのヒントを与えてくれます。



祇園祭の歴史

祇園祭は、869年に疫病が流行したさい、当時の国の数66か国にちなんで66本の鉾を立て、祇園神に災厄の除去を祈った「祇園御霊会」に始まる、八坂神社のお祭り。その後、室町時代に町衆（商工業者）の自治組織である両側町が成立すると、町ごとに風情をこらした山鉾をつくって巡行させるようになった。

さきまつり あとまつり 前祭、後祭の復活

6月初めごろから京都の人々は祇園祭を話題にし、7月1日の吉符入りからは、街は祭一色となる。1966年以来、それまで別々に行われていた前祭と後祭を統合していたが、2014年に元の形に戻した。これで伝統が正しく継承される、と京都人は歓迎している。ちなみに「後の祭り」という言葉はこの後祭が語源だとする説もある。

花名刺と京丸うちわで舞妓さん気分

いくおかや 幾岡屋*

地図 ⑤

かんざし、扇など舞妓さんの小間物すべてを扱うお店。創業1862年。一般の人でも使えるかわいいデザインのもの揃っている。舞妓さんが使う「花名刺」は、手刷りのものもあり、制作期間に3か月～半年ほど要するが、趣がすばらしい。自分の名前を入れてもらうことも可能。

京都市東山区祇園町南側577-2

電話 075-561-8087 営業 11:30～19:00 定休 木曜日（不定休あり）

アクセス 市バス「祇園」徒歩3分、京阪本線「祇園四条」徒歩2分、阪急京都線「河原町」徒歩5分

こまるや すみい 小丸屋住井*

地図 ⑤

1000年以上の歴史があるという、うちわや扇の老舗。夏の挨拶として芸妓さんや舞妓さんが得意先に配る「京丸うちわ」（小丸屋 商標登録商品）にも1枚から名入れができ、オリジナルをつくることができる。

京都市左京区岡崎円勝寺町91-54

電話 075-771-2229 営業 10:00～18:00 不定休

アクセス 地下鉄東西線「東山」徒歩8分、京阪本線「三条」徒歩15分

モデルコースと地図

身体のツボは押してこそ効きます。

京都のツボは歩いてこそ効きます。

どこを、どう歩けば効くか。

いくつかのモデルコースを作ってみました。

半日、あるいは一日、

この流れに沿って歩いてみてください。

思わぬところに、違ったツボがあるのを

見つけることができるはずですよ。

まずは歩くこと。それが京都のツボです。

モデルコース作成: 柏井 壽 地図制作: タナカデザイン

移動に要する時間はあくまで目安です。バス、電車は本数が少ない場合もありますので、事前にお調べください。

お寺、神社、お店などの情報を掲載しているページ数も記していますが、

データは変わることがありますので、最新の情報をご確認ください。

地図上のページ数はデータが載っているページのもので、地図の縮尺はそれぞれ違うので、ご注意ください。



平安京の中心地

京都御苑の内外を歩く半日コース

卍 御霊神社 御霊信仰 ▶P.128、129、151～153

↓ 徒歩1分

👛 水田玉雲堂 唐板煎餅のおみやげ ▶P.152、153

↓ 徒歩7分

🏯 相国寺 京都五山の総本山、宗旦稲荷 ▶P.10、13

↓ 徒歩15分

卍 幸神社 平安京鬼門守護 ▶P.76、77

↓ 徒歩2分

👛 出町柵形商店街 いろいろそろうおみやげ ▶P.98、101

↓ 商店街内

🍷 満寿形屋 鯖寿司ランチ ▶P.100、101

↓ 徒歩1分

👛 出町ふたば 素朴なお饅じゅうのおみやげ ▶P.143、145

↓ 徒歩15分

卍 京都御所 猿が辻。京都御苑内 ▶P.75～77

↓ 徒歩6分

卍 護王神社 狛イノシシ、平安京の功労者と気清麻呂 ▶P.102、103、105、108、129

↓ 徒歩8分

卍 厳島神社 唐破風石鳥居。京都御苑内 ▶P.80、81 ※地図6



識れば嬉しい都の素顔 京都のツボ

柏井壽・著

発行：集英社インターナショナル（発売 集英社）

定価：1,200 円（本体）＋税

発売日：2016 年 2 月 26 日

ISBN：978-4-7976-7315-9 C0095

ウェブでのご予約・ご注文は [こちらにどうぞ！](#)